

# 西濃運輸株式会社 省工不取組事例紹介

---

西濃運輸株式会社

執行役員運行部部長 糀矢 亮

# 西濃運輸株式会社 会社紹介

## 設立

昭和21年 11月1日

## 事業内容

貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業、倉庫業、航空運送代理店業、  
通関業、国際航空貨物混載運送取扱業 他

## 本社

【大垣本社】 岐阜県大垣市田口町 1 番地

【東京本社】 東京都中央区日本橋浜町1-12-9 日本橋浜町ビル6F

## 売上高

西濃運輸 : 2,637億6,600万円 (単体)  
セイノーHD : 6,315億0,700万円 (連結)

## 従業員数

単体 : 17,190人  
グループ(91社)合計 : 約31,500人

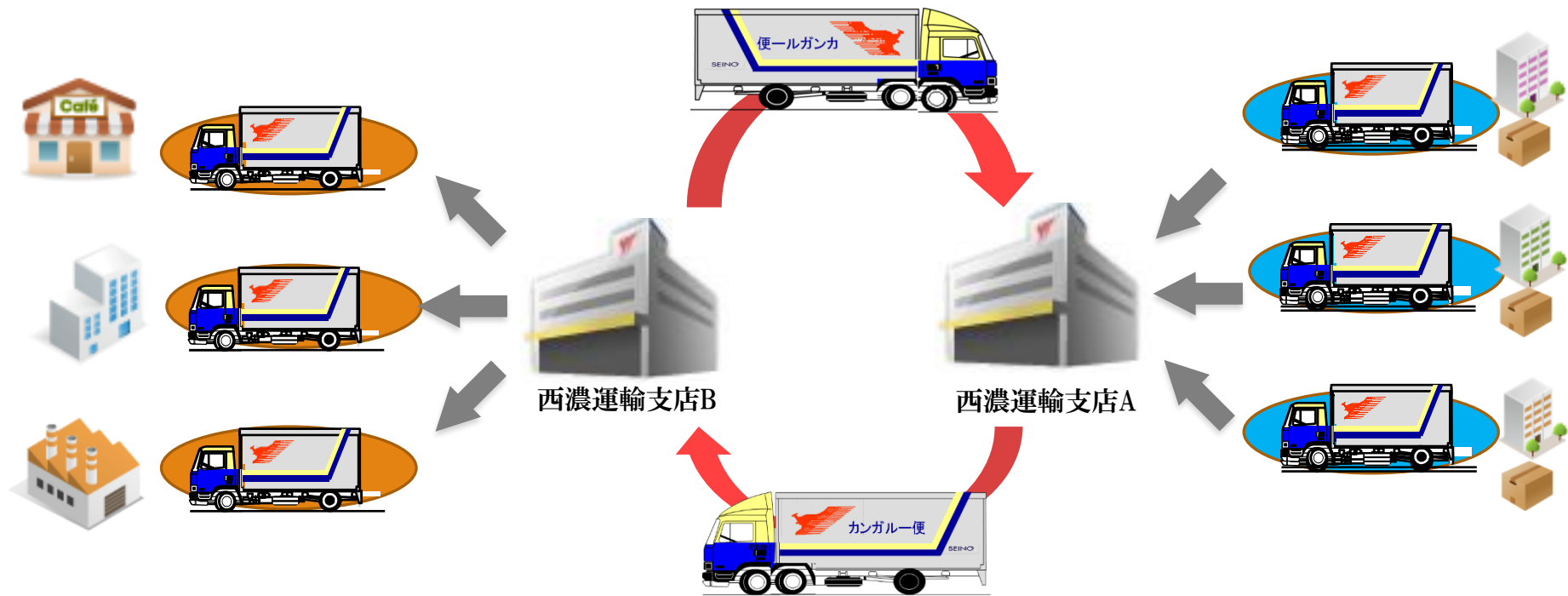
2023年4月現在



# 西濃運輸株式会社 幹線輸送イメージ図

特別積み合わせ輸送

幹線輸送（路線便）



# 西濃運輸株式会社

## CO2削減と働き方改革への取組について

### 背景

- 2030年CO2排出量35%削減目標に向けた取組
  - ⇒モーダルシフト・ダブル連結トラックの取組
  - ⇒エコドライブの推進
  - ⇒エコ車両の導入（ハイブリッド大型車10台、EV車、FCEV大型車両）
- 中長期的な労働力不足への対応（長距離便をトラックでは維持できない）
  - ⇒【働き方改革】日帰り運行の実現、生産性の向上
  - ⇒拠点間輸送のダイヤグラム化実施による作業全体の効率化  
お客様とWin-Winな時間短縮政策の実現（パレタイズ、方面別出荷、倉庫活用など）

### CO2排出量削減量

2018年～2022年までの取組：27,484 t/年（乗用車2億km走行相当）

# 省エネ取組事例①

## モーダルシフト: ブロックトレイン

### ブロックトレイン(専用列車)導入実績

①カンガルーライナーSS60号 2018年5月運行開始  
吹田貨物ターミナル駅 ⇄ 仙台港駅  
走行距離: 928km

②カンガルーライナーNF64号 2021年3月運行開始  
名古屋貨物ターミナル駅 ⇄ 福岡貨物ターミナル駅  
走行距離: 826km

③カンガルーライナーTF60号 2021年10月運行開始  
東京貨物ターミナル駅 ⇄ 東福山駅  
走行距離: 779km

### CO2排出削減量

- ①カンガルーライナーSS60号: 8,756 t/年
- ②カンガルーライナーNF64号: 9,093 t/年
- ③カンガルーライナーTF60号: 8,083 t/年

合計: **25,932t/年** (乗用車1.9億km走行相当)



# モーダルシフト ブロックトレインの運用

●長距離輸送ネットワークの安定化に向けた大型モーダルシフト推進

従来運行



名古屋支店



鳥栖支店



交代乗務員

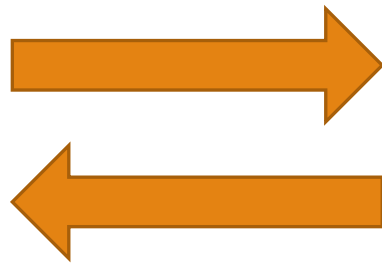
# モーダルシフト ブロックトレインの運用

●長距離輸送ネットワークの安定化に向けた大型モーダルシフト推進

モーダルシフト実施後



名古屋支店



名古屋貨物ターミナル駅



福岡貨物ターミナル駅



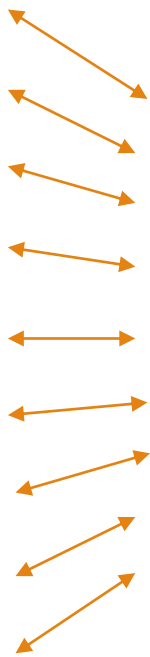
鳥栖支店



# モーダルシフト ブロックトレインの運用

●長距離輸送ネットワークの安定化に向けた大型モーダルシフト推進

ブロックトレイン導入後

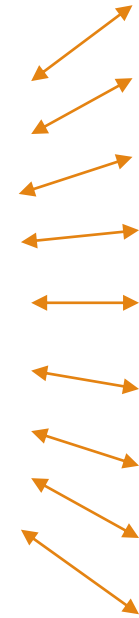


名古屋貨物ターミナル駅

カンガルーライナーNF64号



福岡貨物ターミナル駅





# 省エネ取組事例②

## モーダルシフト：船舶輸送

### モーダルシフト(船舶)導入実績

清水港 ⇒ 大分港 2018年7月運行開始  
走行距離：1,044km ※2021年2月より3便運用

東京港 ⇒ 荻田港 2019年6月運行開始  
走行距離：1,128km ※2021年10月より2便運用

敦賀港 ⇒ 博多港 2019年9月運行開始  
走行距離：738km

横須賀港 ⇒ 新門司港 2022年1月運行開始  
走行距離：1,092km ※2023年10月より2便運用

大阪南港 ⇒ 大分港 2022年2月運行開始  
走行距離：693km

### CO2排出削減量

合計：**929t/年**（乗用車670万km走行相当）

横須賀港⇒新門司港(東京九州フェリー)



# 省エネ取組事例③ ダブル連結運行

## ダブル連結(24m・25m)運行導入実績

小牧支店 ⇄ 藤枝支店 2018年3月運行開始  
走行距離:180km

ヤマト運輸関西ゲートウェイ ⇄ 厚木ゲートウェイ  
走行距離:513km ※4社共同運行

西広島支店 ⇄ 姫路支店 2021年10月運行開始  
走行距離:252km

西広島支店 ⇄ 福山支店 2021年11月運行開始  
走行距離:104km

西広島支店 ⇄ 神明支店 2022年5月運行開始  
走行距離:312km

## CO2排出削減量

合計: **623t/年** (乗用車450万km走行相当)



# 省エネ取組事例④

## FCEV車両実証実験への参画

### FCEV(水素燃料電池)大型車両実証実験

2023年6月28日(水)から実証事件開始  
東京支店～小田原支店～相模原支店～東京支店  
走行距離:207km

4社にて実証実験の実施  
アサヒグループホールディングス株式会社  
NEXT Logistics Japan株式会社  
ヤマト運輸株式会社  
西濃運輸株式会社

CO2排出削減量

合計:47t/年 (乗用車34万km走行相当)



# 『Team Green Logistics』 ～共に創り、未来に貢献する～

---

日本が直面している少子高齢化や環境問題などの社会課題に対し、持続可能な物流ネットワークの最適化が必要である。

我々が、オープン・パブリック・プラットフォームの概念のもと、サプライチェーン全体において環境配慮を促すため、顧客ならびに様々なパートナーとの連携を強化し、チーム一丸となって「Green物流」を共創していく

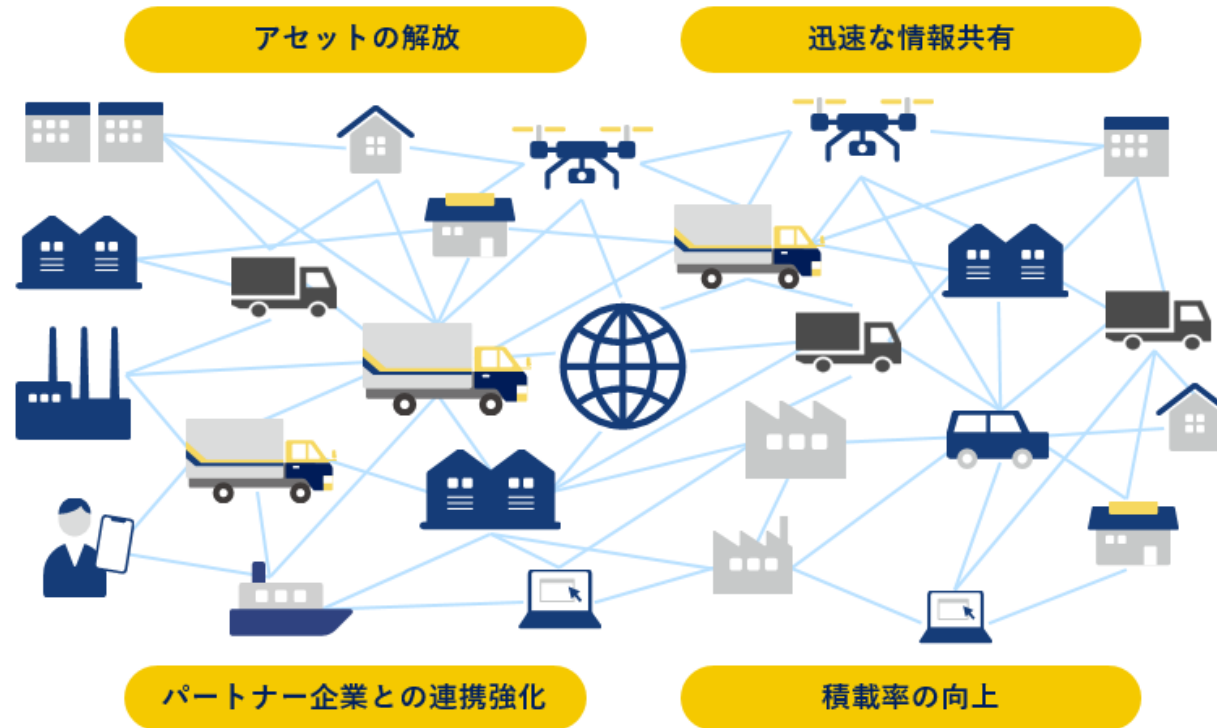
だからこそ、従業員ひとりひとりが企業理念に則り、互いを尊重し、お客様から選ばれる「物流を超えた」企業となるべく、「心をつなぐ」ことで未来に貢献する

# 『Team Green Logistics』 の目指す姿

業界・企業の垣根を超えたオープン・パブリック・プラットフォーム（O.P.P.）によりGreen物流を展開



# フィジカルインターネットによる Green物流の実現へ



デジタルプラットフォームでお客様や輸送事業者各社が保有する輸送データをつなぎ、  
中継センターなどオープンに活用できるアセットを物流業界全体の効率化に寄与。

ご清聴ありがとうございました